

作成日：2026年 4月 14日

研究協力のお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

ピペラシリン/タゾバクタムとメロペネムの Clostridioides difficile 感染症発症リスクの比較
1. 研究の対象および研究対象期間 2021年1月1日から2023年12月31日に昭和医科大学病院の集中治療室に入院し、Clostridioides difficile トキシン検査を実施された患者さん
2. 研究目的・方法 Clostridioides difficile 感染症（CDI）は、抗菌薬関連腸炎として知られ、患者さんの予後や入院期間に影響を及ぼす感染症です。 この研究では、入院中に CDI が疑われて検査を受けた患者さんを対象に、使用された抗菌薬の種類と CDI の発症との関係を調べます。特に、タゾバクタム／ピペラシリン（TZP）とメロペネム（MEM）という2種類の抗菌薬に注目し、どちらの薬を使った患者さんで CDI が起こりやすいかを比較します。この研究によって、今後のより安全で適切な抗菌薬の選択につなげ、院内感染の予防や治療の質の向上に役立てることを目的としています。 この研究は、すでに診療で得られている情報を用いて行う後ろ向き観察研究です。新たに検査や治療を追加することはなく、患者さんに新たな負担が生じることはありません。研究では、カルテから得られた情報をもとに、TZP を使用した患者さんと MEM を使用した患者さんで、CDI の発症頻度に違いがあるかを統計学的に検討します。なお、研究に使う情報は、氏名や患者番号などの個人を直接特定できる情報を除いたうえで取り扱います。
3. 研究期間 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2029年3月31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類 年齢、性別、バイタルサイン、入院期間、ICU入室率、背景疾患、CDI発症率、CDI発症2ヶ月以内の抗菌薬、プロトンポンプインヒビター、H2ブロッカーの使用歴、抗菌薬投与期間、昇圧剤使用の有無
5. 外部への試料・情報の提供 該当致しません。

6. 研究組織

研究責任者 昭和医科大学病院感染症内科 森 伸晃

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学病院 感染症内科

氏名：森 伸晃

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8777（医局）